



【資料2】次期中長期目標案の概要

2025年11月21日
大臣官房総合政策課環境研究技術室



次期中長期目標案のポイント

2025.11
大臣官房総政課
環境研究技術室

- 「不变の原点」から新たな研究テーマ、社会的な要請の特に強い課題への対応まで、幅広い分野での研究を引き続き推進。
- 分野横断的・統合的な研究を推進することで、学際領域・分野横断領域の研究開発を先導するとともに、環境経済社会のデータを収集・管理できる環境情報基盤整備を進め、環境研究のハブ機能を強化。

【環境研究、環境情報の収集・整理・提供等】

1. 重点的に取り組むべき課題への統合的な研究の推進
 - ・「循環共生型社会」の具体化・実現を科学的側面から先導する、3つの統合型研究プログラムの設定
2. 環境研究分野それぞれを中核とした研究・技術開発の戦略的推進
 - ・5つの分野を中核とした研究・技術開発の推進
 - ・知的研究基盤の整備（長期モニタリング、計測標準化等）
3. 国の計画に基づき中長期目標期間を超えて実施する大型事業の着実な推進
 - ・二大事業（衛星観測・エコチル調査）
 - ・気候変動適応に関する業務
4. 国内外機関との連携の強化、政策貢献を含む社会実装の推進
5. 「環境研究共創拠点」の構築
 - ・環境情報の統合的解析・データサイエンス研究の推進
 - ・国内外の関係研究機関等とのデータ連携の推進

【企画・支援業務】

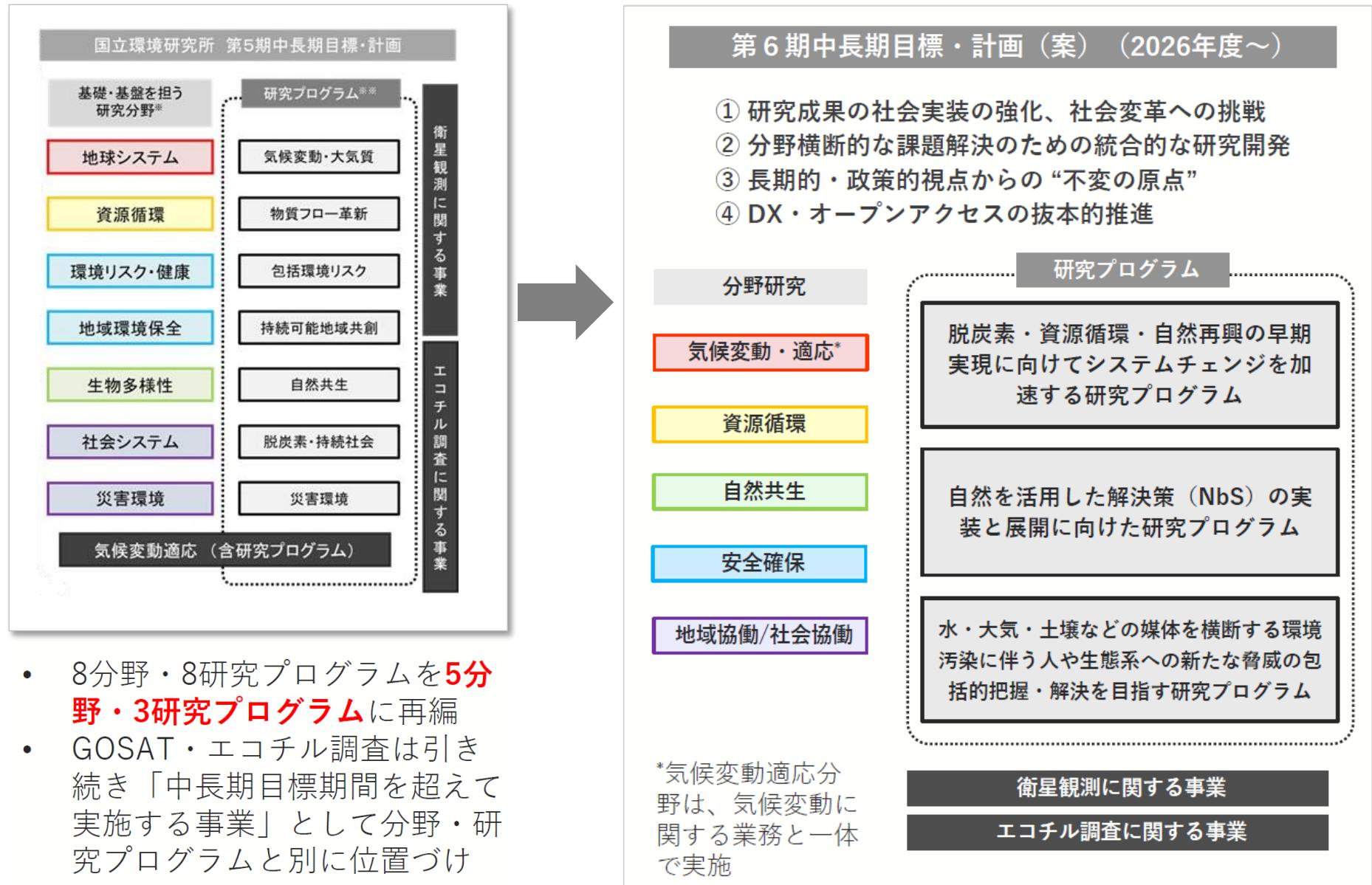
1. 原則は第5期の構成を踏襲
2. 外部からの指示事項への対応
 - ・研究インテグリティ、デジタルトランスフォーメーション（DX）等

【評価軸・指標群】

1. 原則は第5期の評価軸・指標群を踏襲
2. 評価指標・モニタリング指標の整理
 - ・指標数が多い項目は、重要度と考えられる指標に絞り込み
 - ・第5期に大きな進展があった業務について、現状に合わせて評価軸・評価指標等を見直し

次期中長期における研究活動の枠組み

2025.11
大臣官房総政課
環境研究技術室



次期中長期における研究活動の枠組み

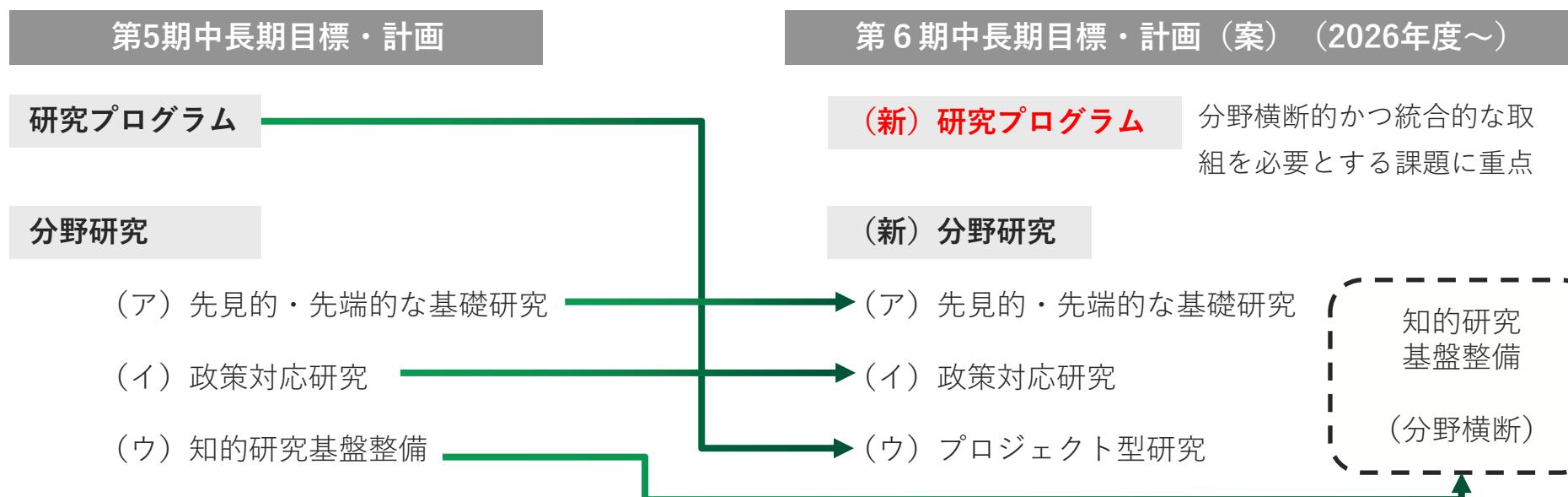
2025.11
大臣官房総政課
環境研究技術室

1. 各分野の研究の着実な発展と総合化

- 今期（第5期）の「基礎・基盤的取組」と「戦略的研究プログラム」を発展的に一体化した『分野研究』を設定して、基礎・基盤から応用的研究（プロジェクト型研究）までを一体的に推進することでつながりを強化。
- 長期モニタリング観測 / 環境試料の長期保存などの知的研究基盤の取り組みは、分野横断的に実施。

2. 従来の環境分野を超えた分野横断的・統合的な研究活動の推進

- ネット・ゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブの統合化など、分野横断的かつ統合的な取り組みを必要とする研究課題への対応として、新たな『研究プログラム』において、複数分野からの研究参画を得て、新たな時代の要請に対応する研究を戦略的に推進。



第5期と第6期の対応図

2025.11
大臣官房総政課
環境研究技術室

国立環境研究所 第5期中長期目標・計画

第6期中長期目標・計画（案）（2026年度～）

